

もみじ「さるかに合戦」

(活動の内容、活動中みられた子どもの姿・声、子供同士や保育者との関わり)

サワガニが園にいたことを不思議がり「なんでいるの?」「さるかに合戦の話読んでたからかな?」と、物語にカニが出てくることから園に来たと想像していた。そこから自分たちで絵本を読むなど物語に親しんでいきました。カニが保育園に来たのは物語を読んでいたから!という子どもたちの会話から「じゃあサルはどうやったら保育園に来てくれるかな?」と子どもたちに尋ねると「柿の木があれば来るかも!」「この前、家の近くにサルがいたってママが言ってた!」とそこから柿の木作りに発展していきました。

幹は積み木で表現し、葉や実も 5 歳児中心に意見を出し合い絵の具や折り紙で製作をしました。



子どもたちが自主的に、積み木で柿の木を作りました。すると、「カニがない」と、カニが作りが始まり、出来上がると「サルも作ろう」とラ Q を使い、カニやサルを作り始めました。ラQのサルやカニを使ってごっこ遊びが始まり、やりとりを楽しみました。

LaQ で作ったカニ





積み木で作った柿の木が出来上がるとサルを表現し、三脚に乗ったり、園庭の木登りをしたりする中で、ごっこ遊びが更に発展しました。



図鑑や絵本で柿の木や実について調べ、折り紙で折ったり、花紙を使用して立体的に作ったりして柿の木を仕上げていきました。



散歩先の沢でサワガニがどんなところに住んでいるのか？遠足で行った動物園では、サル山を歩き回るサルを観察し、主要登場人物の生態を調べ、役作りに活かしました。



秋の遠足で動物園に行き、実際にサルを見て動きのイメージを膨らませ「保育園に柿があるよー！「食べにきていいよー！」と声をかける姿が見られました。

干し柿づくりをしました。

むいた皮を味見。「これが渋いっていうんだね」「サルはすぐに食べていたから渋柿じゃなくて甘かったんだね」



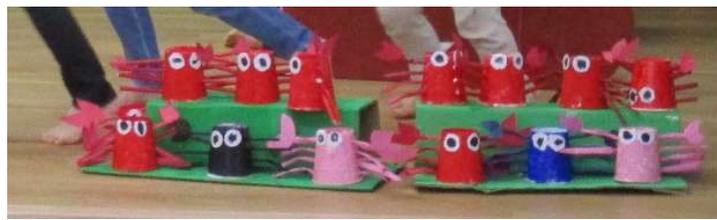
柿の種を実際に植えてみました。
「なかなか芽が出ないね」
毎日楽しみに水やりをしています。



子どものアイデアなどを汲みとり、衣装をハサミや縫いさしなどして子ども自身が手作りをしました。



実際に臼に触れて重さを体感しました。「重い。全然動かない!」「こんなの落ちてきたら大げがだね。」



隣りのグループの友だちや乳児さんを招待して劇遊びを発表しました。
生活発表会につながり、発表しました。





夏

ハチが隠れていた水瓶ってなに？
今は蛇口をひねると水が出るけれど、昔は井戸や川の水を汲んできたんだって！

水をバケツで運んだり、竹の水路で水を流して遊んだりしました。

